

城西国際大学の建学の精神、教育理念、ポリシー等

建学の精神

学問による人間形成

教育理念

国際社会で生きる人間としての人格形成

ビジョン

城西国際大学は、高い倫理観のもと、地域社会及び国際社会のニーズに対応した先端的教育の提供及び研究の推進をもって、地域にあっても日本全国はもちろん、世界で起きている現実を深い問題意識を持って理解し、他者と協働して活躍できる人材を育成する未来志向のグローバル大学になります。

ミッション

城西国際大学は、総合大学としての教育研究環境を活かして、多様な時代に即した知的で刺激的な学びを提供し、文化を継承・創造し多様性を理解して地域や世界で活躍できる人材、また、それぞれの専門能力を持って関連領域と連携できる職業人を育成します。

教育目標

学校法人城西大学は、創立者水田三喜男による「学問による人間形成」を建学の精神として1965(昭和40)年に発足しました。城西国際大学は、その建学の精神を継承しつつ、「国際社会で生きる人間としての人格形成」を独自の教育理念として掲げ、未来志向の人材育成を社会的使命としています。

本学学則第1条に「広い分野の知識と深い専門の学術を教授研究し、知的、道徳的能力の涵養をはかり、もって国家社会に貢献し得る人材を養成するとともに、人類文化の発展に寄与することを目的とする」ことを掲げ、具体的に次の6項目を教育目標としています。

- 総合大学としての教育研究環境のもと、多様な文化・価値に対応し得る思考力及び判断力を修得する学びを創出する。
- 先端性を持った経営情報学、人文学、メディア学、観光学及び環境社会学の教育・研究に努め、文化を継承・創造し多様性を理解して地域や世界で活躍できる人材を育成する。
- 先端性を持った社会福祉学、理学療法学、薬学及び看護学の教育・研究に努め、それぞれの専門能力をもって関連領域と連携できる職業人を育成する。
- 地域社会および国際社会で活躍する社会人として必要とされる人間力と教養、実務能力などの修得や帰属意識の形成を図る。
- 本学が立地する地域社会と緊密な関係を保ち、産学民官の協働による地域の活性化及び文化の振興に貢献する「地域密着型」の総合大学、そして未来志向の大学を目指す。
- 同一学校法人が設置する城西大学と相互啓発・協働を推し進め、相携えて発展することで、社会における学校法人城西大学の責務を果たす。

入学者受け入れの方針(アドミッション・ポリシー)

1. 城西国際大学が求める人物像

城西国際大学では、高等学校等で養われた確かな基礎学力の上に、学修意欲の高い人、とりわけ、本学の建学の精神「学問による人間形成」及び教育理念「国際社会で生きる人間としての人格形成」を理解し、本学の教育方針に共感を示す以下のような人物を求めます。そのために、多様な選抜方法を実施します。

- 豊かな人間性を身につけ、国際社会・地域社会・産業界等に貢献することに価値を見いだすことができる人
- 社会が求める教養と専門的な知識・技能の修得に主体的に取り組むことができる人
- 修得した学問をもとにして新たな課題を見付けだし、その解決のために適切な思考、判断をし、それを他者に対して表現することができる人
- 多様な文化・価値が共生する社会において、他者と積極的にコミュニケーションを取ることができる人

2. 入学者選抜の基本方針

アドミッション・ポリシーを具現化するために、以下の入学試験を実施します。学部学科の教育方針にふさわしい人を、学力の三要素(「知識・技能」「思考力・判断力・表現力等」「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」)などから、多面的な指標を用いて評価・選抜します。

《総合型選抜》

当該学部学科の教育目的に対し理解と共感を示し、その資質と能力を本学で発揮することに意欲的な人材に対し門戸を開く制度です。

《学校推薦型選抜(指定校、公募制)》

本学が求める基準を満たし、かつ学校長などが推薦する人材を対象に実施します。当該学部学科の教育目的に対し理解と共感を示し、その資質と能力を有すると学校長などが推薦する人材に対し門戸を開く制度です。

《一般選抜》

当該学部学科の教育目的に対し理解と共感を示し、その資質と能力を有する優秀な人材に対し門戸を開く制度です。

《大学入学共通テスト利用入学試験》

大学入学共通テストを受験し、本学を志望する人材に対し門戸を開く制度です。

はじめに

この学生募集要項には出願手続きから入学手続き完了までのすべてを記載しています。入力・記入に際しては間違いのないように十分注意してください。受験上の注意事項や選考会場案内図なども記載していますので、選考当日はこの「学生募集要項」を持参してください。

また、出願前にアドミッション・ポリシーを必ず読んでください。

受験上の注意事項

1. 選考当日は、受験票記載の指定された選考会場以外での受験はできません。
選考当日は、指定された時刻までに指定の試験室に入室してください。
2. 選考会場の試験室等は、選考会場の入り口に掲示するなどしてお知らせします。時間に余裕をもって行動してください。
3. 選考会場の入り口で受験票の提示を求められる場合があります。
4. 受験票は、机面上に表示している受験番号票に並べて置き、筆記用具以外はカバン等にしまってください。
5. 受験票を忘れた場合は、選考当日に「仮受験票」の交付を受けてください。仮受験票の交付場所は、選考会場にて掲示等で指示します。
6. 受験票、筆記用具（HBまたはHBより濃い鉛筆・プラスチック消しゴム）を必ず持参してください。
7. 選考会場での上履きは不要です。
8. 試験室に入室する際は、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末等の電子機器類の電源を切り、カバン等にしまってから入室してください。身につけていたり、手元にあった場合も不正行為となる場合があります。
9. 試験中は、監督者の指示に従ってください。
10. 選考会場までは公共交通機関を利用してください（本学シャトルバスは利用できません）。

新型コロナウイルス等の感染症の対応について

1. 発熱・咳等の症状がある受験者はあらかじめ医療機関で受診をしてください。
2. 新型コロナウイルス等の感染症に罹患し、選考当日までに医師が治癒したと診断していない受験者や試験日直前に保健所等から濃厚接触者に該当するとされた受験者は受験できません。
3. 発熱・咳等の症状のある受験者は、選考当日の検温で、37.5度以上の熱がある場合は、受験できません。
4. 選考会場及び選考会場までの移動には、発熱・咳等の症状の有無にかかわらず、昼食時以外は各自で用意したマスクを常に着用してください。
5. 試験室への入退出を行うごとに、速乾性アルコール製剤による手指消毒をお願いいたします。
6. 選考会場は、試験室の換気のため窓の開放等を行う時間帯があるので、暑さ寒さを調整できるような服装を持参してください。
7. 選考当日は、食堂等の営業は行いません。昼食が必要な場合は持参してください。その際、昼食は自席で取ってください。
8. 試験終了後、試験室ごと又は試験室内の列ごと等に退出の順番を指示することがあります。
9. 感染拡大防止のため、原則、受験者以外は大学構内に立ち入りできません。受験上の配慮が必要な場合は、出願締め切り日までにあらかじめ入試課に相談してください。
10. 他の疾患の罹患等のリスクを減らすため、インフルエンザワクチンその他の予防接種を受けておくことを心がけてください。
11. 日頃から、手洗い・手指消毒、咳エチケットの徹底、身体的距離の確保、「三つの密」の回避などを行うとともに、バランスのとれた食事、適度な運動、休養、睡眠等、体調管理に心がけてください。
12. 新型コロナウイルスの感染により受験できない場合は、選考日までに入試課に相談してください。
13. 新型コロナウイルス等の感染状況によっては、本要項に記載されている選考方法とは異なる方法で選考することがあります。その際は本学ホームページにてお知らせします。

●一般選抜実施にあたっては、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を一部改変もしくはそのまま使用して出題することがあります。必ず使用するとは限りません。
「入試過去問題活用宣言」についての詳細は、次のURLにて確認してください。
<http://www.nyushikakomon.jp>